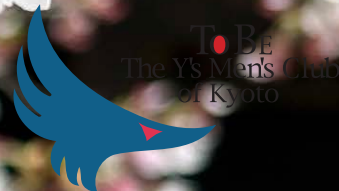


2026 April

Bulletin



2026年4月1日 発行
第30巻 第10号
通巻331号

今月の聖句

すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

使徒言行録2章4節

＊教会暦5月に来るペンテコステ（聖霊降臨祭）でもこれが日本社会に普及することはなさそう…

前号で「イースター（復活祭）が最後」とお伝えした所以です。

教会組織と伝道活動の誕生譚を聖霊にまつらせるのは確かに分かりにくく、スイーツ商戦展開も無理。

でもこう考えると私たちにも近い事態だったかも—もうここには居ないあの人の思いが今ならわかる…

これを語り伝え今後の組織作りに活かそう—古代の人たちはそれを「聖霊」と呼んだ？

クラブ会長標語

『「Changing」～克服していこう～』

クラブ会長：桶谷 雄一

国際会長主題

“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」

国際会長：Edward Ong

アジア太平洋地域会長

“Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」

アジア地域会長：田上 正

西日本区理事主題

世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

西日本区理事：中井 信一

“Let’s enjoy the YYY life together without friends all over the world!! “

京都部部長主題

次のステージを求めて！ Looking for the next stage！

京都部部長：隠塚 功



4 クラブ 合同例会 3 月第一例会

3月19日（木）19:00～21:00
ホテル日航プリンス京都

京都トゥービークラブの皆様、3月19日の合同例会では誠に世話になり、ありがとうございました。今回の歴史的な4クラブ（ウイング、トゥービー、ZERO、ブラック）合同例会は、貴クラブの桶谷会長からいただいた一言のご提案から実現したものです。素晴らしいきっかけをくださり、心より感謝申し上げます。次期西日本区理事の岡村遍導様や京都グローバルクラブの皆様を含め、総勢約90名が集う熱気あふれる会となりました。私の会長主題「仲間とつながる 未来につなげる」とスローガン「明るく楽しく元よく」の通り、クラブの垣根を越えた素晴らしい交流となりました。この繋がりを共にワイズの未来へつなげていきましょう！



文・京都ウイングクラブ会長 上田 敦

京都 ZERO ワイズメンズクラブは、トゥービークラブさんから誕生した子クラブでもあり、そのようなご縁の深いトゥービークラブさんのブリテンに記事を掲載いただくことに、嬉しさとともに、少し恐縮する気持ちもございます。

今回の4クラブ合同例会は、同期会長同士の親睦もあり、トゥービークラブの桶谷会長にお声がけいただいたことをきっかけに、「ぜひ4クラブで合同例会をしよう」という流れで実現いたしました。

ウイングクラブさんとトゥービークラブさんは親子クラブの関係にあり、またトゥービークラブさんから ZERO クラブ、そしてブラッククラブさんが誕生したと認識しております。

ブラッククラブさんとは、いわば兄弟クラブのようなご縁でもあり、こうして4クラブという“家族”が集まって合同例会を開催できたことは、とても記念に残る、素晴らしい一日になったのではないかと感じております。

例会の内容についても、各クラブさんからそれぞれ特徴ある活動報告があり、とても興味深く、学びの多い例会だったと感じております。

ZERO クラブの会長を拝命してから、私自身、ワイズメンズの良さや真髄は、他クラブの皆さんとの交流や懇親の中にあるのではないかと感じるようになりました。

そうしたつながりがあるからこそ、ワイズメンズの魅力や楽しさが、より深く伝わってくるのだと思います。

だからこそ、初の試みとなった今回の4クラブ合同例会で、何より楽しく交流・懇親の時間を持てたことが、本当に良かったと感じております。

また、席次については、本来であればもっと MIX して交流しようというお話もありましたが、まだまだ行き届かなかった点や、当日にうまく運ばなかった部分もあったかと思えます。

ただ、それも今後につながる大切な一歩だったのではないのでしょうか。

ぜひこれをきっかけに、第2回、第3回と回を重ねながら、さらに良い形にブラッシュアップされ、伝統ある合同例会として続いていけば嬉しいなと、個人的に思っております。

そして何より、トゥービークラブさんは ZERO クラブにとって大切な親クラブです。

今後とも ZERO クラブと末長く、温かく、そして力強く関わっていただけたら大変嬉しく思います。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

文・京都 ZERO クラブ会長 加藤 学



今回、4クラブで合同例会ができたことに深く感謝申し上げます。

100人近い人数が集まり、合同例会をするというのはすごく稀であり貴重な例会となりました。

忙しい中で企画や設営をしていただいた方、ありがとうございます。

ブラッククラブのメンバーは他のクラブとの交流の経験が少なく、さらに1年以内に入会されたメンバーが多かったことから緊張して他のクラブの方と交流できていなかったという声が多く上がり、そのことについてはすごく残念です。

これを機に他のクラブとの交流を少しずつ増やしていければワイズメンズクラブのことをもっと知っていける良いきっかけとなると思っております。

他のクラブがどんな活動をしているのか知れるすごく良い例会内容でブラッククラブがこれから少しずつしていかなければいけないことが感じ取れる内容でした。

ブラッククラブはまだまだ未熟なクラブで皆さんのお力を借りることもあるかと思いますが、これからもブラッククラブをよろしくお願いいたします。

文・京都ブラッククラブ会長 神谷 順也



初の4クラブ合同例会開催有難うございました。特に舵を取って下さったウイングクラブ上田会長に深く感謝申し上げます。

今回の4クラブ合同例会は、私の何気ない一言から始まった企画でしたが、こうして親子クラブの絆を、多くの仲間と共有できたことを大変嬉しく思っております。

当日は次期西日本区の岡村遍導様をはじめ、京都グローバルクラブの皆様にもご参加いただき、総勢約90名という大きな輪が広がりました。改めて、人と人との交流の素晴らしさを感じました。

私の今期テーマ「Changing ～克服していこう～」のもと、こうした交流を通じて新たな一歩を踏み出せたことに感謝しております。

このご縁を大切に、これからもクラブの垣根を越えて、共にワイズの未来へとつなげていきましょう。今後ともどうぞ宜しく願い申し上げます。

文・京都トゥービークラブ会長 桶谷 雄一



4 クラブ 合同例会



3月第二例会

3月21日(土) 11:00~13:30
南座

大阪なかのしまクラブ合同例会

京都トウビークラブさんとの DBC 例会に参加して

3月21日の土曜日京都トウビークラブさんとの DBC 例会に出席するために早朝コメットの美帆と一緒に、わくわくする気持ちを抑えながら家を出ました。

途中梅田でなかのしまのメンバーと合流し、阪急京都線特急に乗り込んだ車中私は2年前の DBC 例会を思い出していた。

桜満開の美しい京都での例会の席上で、桶谷会長が次々期の DBC 例会「何か希望がありますか」と問われて、うーんと考えこみました。

桶谷会長は「京都タワーに昇った事ありますか」京都タワーはないなあ、そのあと私はとんでもない事を口にししました。

「南座はどうですか？」昨年の11月に桶谷さんからお電話で DBC 例会の日程の変更を伝えられました。私は今年も京都のお花見かなと勝手に思い込んでいましたが、会長は3月21日の南座のチケットを取りましたからと言われ、私の勝手な意見を上げて下さり、桶谷会長の心づかいに心から感謝申し上げます。

3月の演目は花形歌舞伎特別公演で上方歌舞伎の十八番の曾根崎心中物語と花形歌舞伎特別対談でした。若い役者の天満屋お初と平野屋徳兵衛が印象に残った。そして曾根崎の森を歩く二人、死を覚悟して歩く姿と森との情景が素晴らしかった。

第二部も化粧をしない歌舞伎役者を舞台上で見るのは初めて、伝統芸能歌舞伎の集客を狙って努力している様がよく分かり感動した。

懇親会の会場も素敵で、創業100年を超えるレストラン菊水アンティークな内装の大広間でビールと白ワイン、桶谷会長が事前にメインディッシュをきいてくださった美味しいお料理をいただきながら歓談、新メンバーの紹介等 TOBE クラブの皆様の暖かい心づかいに、関心感激した楽しい DBC 例会でした。ありがとうございました！

文・大阪なかのしまクラブ 武井 和子

全国車いす駅伝競走大会のサポート

3月8日(日) 宝ヶ池プリンスホテル前

令和8年3月8日、天皇杯第37回全国車いす駅伝競走大会のサポートには初めて参加してきました。

トウビークラブとして、私以外に小幡ワイズと洪水ワイズ、さらに福岡から若井ワイズが応援で駆け付けてくださいました。

今年は全国から昨年より1チーム多い全19チームが参加しました。15歳から69歳までの95人がレース用車いすでコースを駆け抜けました。トウビークラブの主な仕事は、第4中継所である西大路御池において、選手達の介助をすることでした。具体的には、移動バスから車いすへの乗降の介助、車いすからレース用の車いすへの乗降の介助、毛布の配布、レースを終えた選手をレース用車いすから移動バスへの乗降の介助等です。介助の中でも難しさを感じたのは、選手をレース用車いすに乗せる介助でした。選手の介助をする際に、レース用車いすのハンドル、ブレーキやセンサー等に触れないようにしなければならないこと、またフットサポートに足を乗せて座シートに座る選手がいれば、レース用車いすの座シートに正座で座る選手もあり、足を置く位置なども含めて全て選手本人に聞かなければ正しい介助ができませんでした。競技が始まり、選手が私達の目の前を通り過ぎるのは一瞬です。各選手が日々鍛錬をしているからこそ、競技本番で車いすを高速で走らせることができるのだらうと感じました。競技を終えた選手が所属チームの順位を気にしつつも、選手同士が互いに称え合っていた様子が印象的でした。優勝は福岡Aチームで、大会の地元である京都Aチームは8位でした。閉会式では高円宮久子さまが福岡Aチームに対して天皇杯を授与されていました。無事大会を終えることができたことに安堵しました。

本文章の草稿中、安井ワイズの訃報に接しました。お世話になった安井ワイズに謹んで哀悼の意を捧げます。

文・京都トウビークラブ 岡崎 雄作

■ メンバーお仕事紹介

小西造園研究所は、2023 年 4 月に創業した造園業の会社です。公共事業を中心に、施設や会社関係の緑地管理、そして個人のお客様のお庭づくりまで、さまざまな現場で造園の仕事に携わっています。割合としては、公共事業が約 50%、施設・会社関係が約 30%、民間工事が約 20%となっており、幅広い経験を活かした対応が強みです。公園などの公共空間から、企業敷地の緑の管理、個人邸のお庭の剪定や手入れまで、緑を通して人と場所をつなぐ仕事を大切にしています。

私たちは、お客様のご要望やお気持ちにしっかりと耳を傾けることを何よりも大切にしています。

「こうしたい」「ここが気になる」といった声を丁寧に受け止め、

親切でわかりやすい説明と、安心していただける対応を心掛けています。

完成したときの美しさだけでなく、日々の使いやすさや季節の移ろいも

楽しめるような空間づくりを目指し、ひとつひとつの仕事に心を込めて

取り組んでいます。



京都トゥービークラブ 小西 高博

連載

くるま 「桶谷会長の相棒たち」

京都トゥービークラブ会長 桶谷 雄一



今回ご紹介するのは、娘の舞が普段乗っている K11 マーチです。見た目はごく普通のマーチですが、そこはやっぱり桶谷家は、ただでは乗りません。しっかりボルトオンターボを組んで、気持ちよく走れる仕様に仕上げてあります。もちろんミッションは 5 速。自分で操る楽しさを大事にした一台です。街乗りもこなせて、踏めばしっかり速い、そんなちょうどいいバランスを狙いました。娘も楽しんで乗ってくれているので、親としてはそれが何よりです。機会があればぜひ実車も見てください。街中で見ても煽らないでくださいね（笑）

YMCA NEWS

①【リトリートセンター開設60周年記念募金】

皆さまの温かいご支援により、寄付総額は 10,638,708 円に達いたしました。

厚く御礼申し上げます。子どもたちが健やかに集い、成長できる場をこれからも大切に育んでまいります。

引き続き、募金へのご協力をお願いいたします。詳細は下記二次元コード、または以下の URL をご覧ください。



<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>

※クレジットカードによるオンライン決済もご利用いただけます。

YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。

例会出席

3月第1例会 16 / 32 名
3月第2例会 11 / 32 名
メネット：6名

ニコニコ

3月第1例会 4,000 円
3月第2例会 0 円
累計 124,000 円

クラブオフィス：京都 YMCA

住所 〒604-8083 京都府京都市中京区 三条通柳馬場東入中之町 2

電話 075-231-4388

会 長 桶谷 雄一
副会長 小幡 弘
山 口 真一
書 記 青木 禎一郎
宮田 雄輔
会 計 伊東 隆一